

渡り廊下棟建設工事および西館改修工事近隣説明会実施結果

令和6年5月18日(土)
午前10時から午前11時00分
医療センター新棟3階セミナー室

1 病院側出席者

病院事業管理者、病院事務局長、新病院建設室長および係長以下4名、
工事施工業者6名、工事監理業者2名 合計14名

2 近隣住民等参加者（※実施案内配布・郵送件数 約350件）

◎東青梅 3名
◎河辺町 14名
◎勝 沼 1名
合計 18名

3 内 容

- (1) 開会の挨拶 (大友病院事業管理者)
- (2) 建替え計画の概要について (雙木新病院建設室長)
- (3) 渡り廊下棟建設工事およびルーバー風切り音対策について
(清水建設株式会社 本間工事長)
- (4) 西館改修工事について (佐久間建設株式会社 丹生現場代理人)
- (5) 質疑応答
別紙のとおり
- (6) 閉会の挨拶 (大館事務局長)

以 上

(5) 質疑応答

項番	質問	回答
1	土壌汚染やアスベストに関して、工事を進める中で分かったことがあれば教えてほしい。	土壌汚染については、東京都多摩環境事務所と調整し、工事のステップごとに調査を実施しており、すべて土壌汚染はないことを確認している。アスベストについては、南棟の解体の際も塗装材などに含有されていたが、対策を講じ撤去した。また、改修工事を行う新棟にもアスベストが含有されていることが判明しているため、適切な対策を講じ安全に撤去する。(病院)
2	以前の説明会で、土留めの打設に伴う敷地外の変化の状況について報告をお願いしたが、未だ回答を頂いていない。わかっていたら教えてほしい。	設計前に敷地周りの公共座標ポイントをGPSで計測している。その座標ポイントを杭打ち工事が終わった後で、施工者が計測しており、動きがないことは確認している。経過報告はまとめているが、再び、杭を打設しているため、工事完了後に調査し、最終的な結果がまとまったら、改めて報告させていただく。(工事監理業者)
3	ルーバーの風切り音について、少し改善はしているが、かなりの音が鳴っているのが現状である。ただ、工事が完了しないと風の流れがわからないため、都度、対応していかざるを得ないと思うが、地元の人は、大変心配している。対応した際には、その内容を自治会に報告してほしい。	裏にプレートを追加する対策を行った箇所(南東、南西部分)は、音が鳴っていないことを確認した。冬になり、風向きにより北風の時には北から鳴っている状況である。ご意見をいただいたとおり、対策した内容については、病院を通じて、都度、自治会に経過報告をさせていただく。(工事施工業者)
4	ホテルのネオンのように明るい。明るすぎて眠れずに遮光カーテンを購入した。そこまで明るくする必要はあるのか。建物の中も含め全体の照明が明るい。街灯の替わりで良い部分もあるが、逆にそれが気になる人もいる。節電の世の中で、明らかに電気を使っているように見えるし、コストを考慮するとどうなのかと思う。少し光熱費についても考えた方がよいと思う。	消費電力が少ない製品を利用しているが、現状を確認するとともに不要な照明の消灯などの対応を検討していく。(病院)
5	風切り音について気になる。この地区に昼夜居住している住民には敏感な人もいますので、引き続き対策を行ってほしい。また、対策を行ったことは知らせしてほしい。	引き続き対応は行う。対策の状況については病院を通じて報告する。(工事施工業者)
6	休日の作業や夜間搬入などに関して、近隣にどのように周知しているのか。また、お知らせを配布する近隣の対象範囲はどこまでか。	休日の作業の時には、今までも事前に近隣にお知らせを配布してきた経緯がある。今後の渡り廊下棟建設、西館改修工事についても、休日の作業の予定はしていないが、工事の最終段階では日曜作業の可能性もあるため、同様に近隣へ周知させていただく。また、近隣の範囲としては、工事の影響範囲の地図をもとに、病院の高さの2倍の範囲を対象としている。敷地南側道路で夜間搬入などがある場合には、病院担当者に確認の上、南側道路に面した家屋にお知らせを配布している。(工事施工業者)
7	敷地東側の救急車路のところにある階段は、なぜ通れないようになってしまったのか。	東側の階段は、駐車場整備が完了した際、本館への通路として使えるように設計している。現時点では、救急車が寄りつける入口にしか行けない状況であり、消防署からも誤って進入して救急車路上に人が滞留すると、救急車の通行の妨げになり危険であるとの指導を受けているため閉鎖している。なお、駐車場整備完了後には本館への通路として抜けられるようになるので、その時点で開放する予定である。(病院・工事監理業者)
8	風切り音は、去年の夏頃からであり、対策完了は、南東と南西、その後、北風が吹いて鳴っているとのことであるが、それ以外の方向からの全方向の風に対する対応の予定はあるのか。対応していると考えられる箇所、3日前に南側の風でかなり大きな音が鳴っていた。対応がちゃんとできていないのではないのか。	南面については、仮設のシートを張っている状況である。ちょうど1年間経つため、気象庁の風向きなども確認し、同じ対策で鳴りやむのか、再度確認させていただき、皆様に御迷惑をおかけしない、音鳴りのしないような対策を病院と検討していく。(工事施工業者)
9	インターネットで見ると風切り音のしないルーバーなどと検索してみると、御社で静音ルーバー(シズカルルーバー)を開発している。今回設置されているのはそれではないのか。	他社製である。(工事施工業者)
10	御社で開発していることから、風切り音については、想定しているはずである。青梅市が何か違った環境で鳴ってしまっているのか。また、他社の製品であり、応急処置であると思うが、対応が完了できないということであれば、今後御社の製品に全部交換するという検討をいただけないか。住民にとってはストレスとなるので対応をお願いしたい。	病院と相談し、対策をしていくが、弊社の開発した製品もあるが、今回設置した製品は、他の施設での実績がある。同じような建物形状で、同製品を設置している愛知県の病院施設を先日見学してきたが、7m～8mの風でも鳴っていない。このため、建物形状や風向きなどの複数条件が重なり音鳴りがしている。当然、シュミレーションはできるが、自然の風のためシュミレーションだけでは予知できない部分もある。現在対応している裏面プレートの対応部分、残りの部分、全面交換も含めて、病院と協議の上、対策は今後検討して報告する。(工事施工業者)
11	医師住宅の外壁工事はどのような内容か。	病院の建て替えに合わせて、医師住宅の古くなった外壁および屋根を塗りなおす工事を行う。(病院)